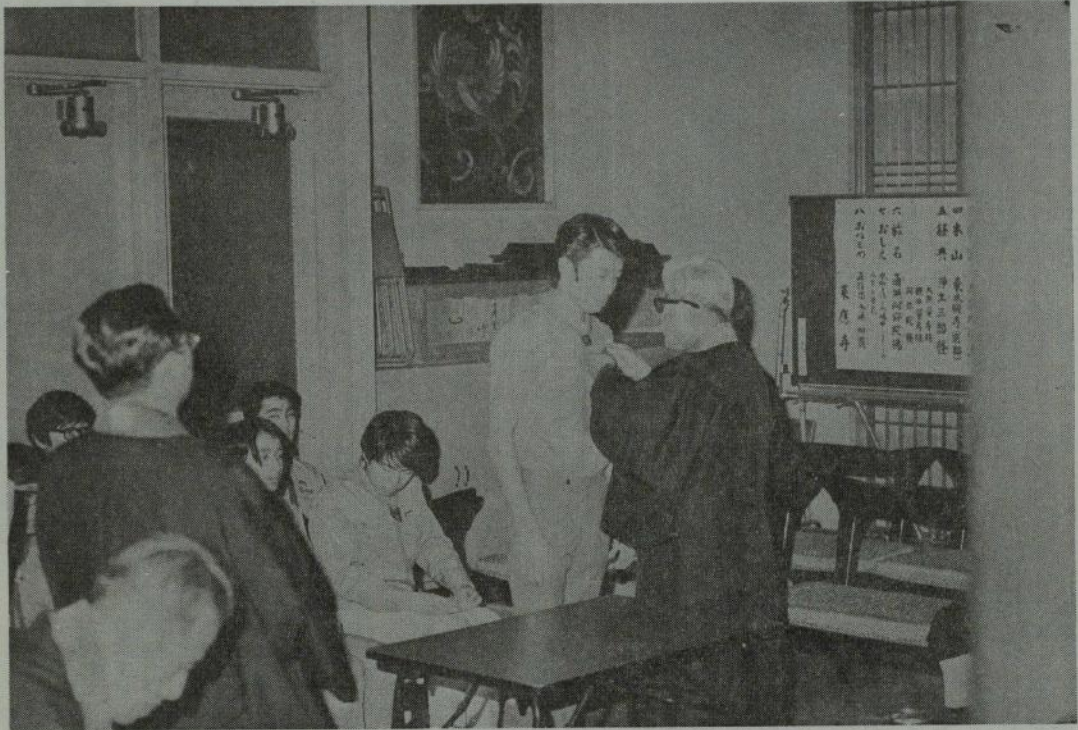


NO. 204

# 全仏

1 / 50



## 年始の言葉

本願寺八代の宗主、蓮如の語録「蓮如上人御一代記聞書」の冒頭「勤修寺村の道徳、明応二年正月一日に御前へまいりたるに、蓮如上人おほせられてさふらふ。道徳はいくつになるぞ、道徳念仏申さるべし。云々」という一節がある。

明応二年といえは蓮如が七十九歳の年にあたる。おそらく年始の挨拶に来た道徳が、ありきたりの世間話に時を過ぎていたのであらう。じつときき入る蓮如の口からふとこの言葉が出たにちがいない。突飛といえは突飛、乱暴といえは乱暴かも知れない。しかしじつとかみしめてみるとこれほど心のこもった深い思いやりはない。今年もまた酔生夢死にも等しい一年を過しかねない一人の男の前に、生死をこえてゆるぎない価値とは一体何か？ 果して君にはそれだけのものがあるか？ この重大な問いかけをしてくれる大導師。何か光っている。(T・K)

真宗大谷派スカウト連合協  
議会の仏教章授与式—十二  
月十四日、東京・来応寺で



現に適進するかが、当面の課題でもあるかと存じます。

もちろん、大所高所より全世界の人類の上に、大慈悲の眼をそがねばなりません、一歩たちどまって国内に大きな心の眼を向けねばなりません。

混沌たる現代の世相に対応するために、全仏は各宗団の夫々の歴史、伝統、文化を踏まえながら、その枠を乗り越えて、積極的に共通の場を提供し手をたずさえるとき、さらに大きく発展する最短距離に立つものと考えられます。

私たちお互はもう一度、仏陀世尊、宗



全日本仏教会理事長 本願寺派 宗務総長

各位には つつがなく 新春をお迎えのこととおよびお喜び申し上げます。

旧年、はからずも全日本仏教会理事長の重責をおおせつかりまして以来、格別の御尽力をたまわり深謝いたします。

ここに新年を迎え所感の一端をのべてご挨拶を申し上げます。

二十世紀も激動の中にいよいよ後四分の一をあますだけとなりました。今世紀の開幕は科学文明の発達とともに、人類にバラ色の未来を約束するファンファーレでありました。

人類の叡智は確実に二十世紀を自から

祖の原点をみつめ、その言葉とところを現実の今日に生かし、みずから行じて二十世紀に向っての新しい日本、新しい日本人の心により大いなる灯明を点じなければなりません。

かくして、私たちは仏教を家庭の中のみ留めることなく、あらゆる機構の中にとけこませ、社会仏教として生かしていくことに、一段の奮起をしまりましょう。

皆様深いご理解とご協力をお願いし新年のご挨拶といたします。

### 神田 寛雄

の手中におさめ、物質文明の花園はまさに百花繚乱の観を呈しました。

しかし、人間のあくなき欲望は止ることを知らず、加えて国家乃至民族的エゴイズムは、地球上に絶え間なく戦禍をくり返して来ました。その結果、資源の欠乏と環境汚染は人類最大の課題となり、核兵器の開発競争は日々エスカレートし一つ間違えば地球滅亡の可能性を確定的なものにしました。

二十世紀は今やバラ色から灰色に一変しました。こうした結果をまねく原因については種々の立場から論ぜられましようが、私は仏教徒として、天地自然の理として大聖釈尊が明らかにされた因果生起の法則を無視した人間のエゴイズムに起因するものであることを指摘せずにはいられません。

ヨーロッパを起点に全世界を洗脳した近代思想が、今、人類をまがり角に立たせていることは事実であります。

このような歴史的な視点に立って、私たち仏教徒は今こそ全世界に向って発言し、行動しなければなりません。

しかもそれは一宗派のわくを越えた、全一仏教的立場からなされる時、何よりも強い力を発揮するでありましょう。しかしながら、仏教界でさえも、ややもすれば宗派エゴイズムに毒されて、互に誹謗し合うことがないでもありません。しかしそのようなことでどうして現代の危機を救い得るといえましようか。

今こそ巨視的立場に立って、仏教本来の面目を発揮し、真に大衆の苦悩を救うにたるべく決意を新たにしたいものであります。

今後とも、全一仏教運動推進のため、各位の一層の御協力を願って年頭のご挨拶といたします。

### 全仏副会長に山田

#### 恵諦師 (天台座主)

全仏副会長として御尽力されていた天台座主・菅原栄海師は、健康上の理由から、このたび引退され、旧臘十二月、新座主に山田恵諦師(滋賀院門跡、七十八歳)が就位された。

これにともない、師は全仏副会長として、菅原前副会長の残任期間をおつとめになられることになる。

- 保田純精 村上貫之  
古賀制二 服部恭寿  
神村拙底 桜井景雄  
田中亮三 奥田行朗  
長谷川 信 岡田有秀  
黒田白純 石川隆惇  
熊野竜夫 土田真也  
村瀬良彦 横井鶴洲  
西口公敏 佐藤寛雄  
中山理々

#### 事務総局

東京都台東区西淺草一ノ五ノ五 千一〇三二八四三二六三四一

- 事務総長 桜井大乗  
事務次長 鱒淵正浩  
総務局長 白川良純  
組織局長 長谷川寿一  
国際文化局長 清胤徹昭  
他 職員一同

#### 関西事務局

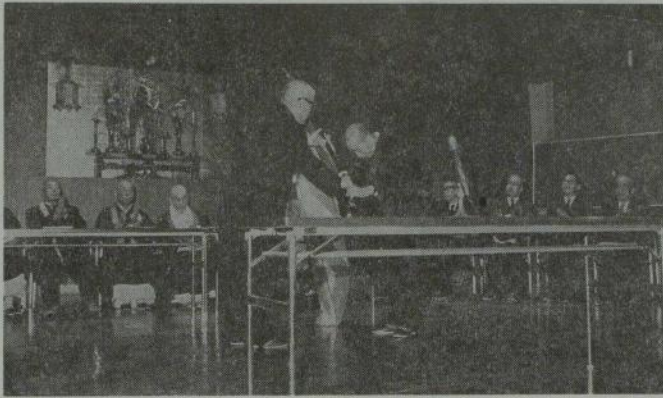
京都市下京区烏丸通七条上ル 真宗大谷派宗務所総務部内 千六〇〇〇七五三七九一八一

- 事務総長 古賀制二  
組織部長 白幡憲佑  
国際部長 北島経昭  
教化部長 山家恵誠  
審議部長 後藤純一  
総務部長 川尻一紀  
他 職員一同

# 全日本仏教徒会議

## 十月に神戸で

### 兵庫県仏 大会形式で開く



昭和五十年度の第二十三回全日本仏教徒会議は、今秋、兵庫県教会（佐藤寛雄会長）が担当し全仏と共催のもと開催される運びとなり、昨十一月の京都知恩

院での全日本仏教徒会議の席上、発表され、大会旗の伝達が行われた。  
兵庫県仏はこれまで神戸市を中心に、花まつりや各種の仏教運動を広く展開してきたが、いよいよ機が熟し大会開催に至ったわけである。

### 第23回大会を お請けして

兵庫県教会長

佐藤 寛雄



卯年は飛躍の歳とか本県は地域すこぶる大であり、その格差ま

た相当著しいところ、本県仏教会も連絡の仕事が中心で、教化事業等は誠に低調であったことは否めません。今回、この大会の要請を受け、全会員の深い理解と

大会々期は十月一日・二日の両日、神戸市の体育館を主会場に、数千名の参加を見込んで行われる予定である。仏教徒会議はこ二回、池上本門寺、京都知恩院和順会館と、代表者会議の形式をとってきたが、第二十三回は再び檀信徒を台めた大規模な動員による大会形式をもって繰りひろげられることになった。

兵庫県仏では、先の京都の会議にも佐藤会長はじめ数名の役員が参加し、その後、諸会合がもたれ、スローガンや大会運営等について検討するなど、すでに実動に入っており、盛会が今から期待されている。

【写真は大会旗の伝達を受ける佐藤兵庫県仏会長】

協賛を得て僧俗およそ三、四千人を擁する大会を開催できるなら、空前の飛躍であり、一大前進であり、最も欣びとするところであります。

かりにこの大会が、仏教徒のお祭りに終わったとしても、それはそれなりに評価されてよいかもしれせん。

しかしお祭り騒ぎに終るが如きは、断じて許されません。多くの人の労苦と、浄財とを何としても生かさねばなりません。如何にこの大会を盛り上げ、意義あるものにするか、目下熟議中であり、積んだりくずしたり、人間の考えることは似たりよったり、ともすれば他府県の経験せられた方式に帰着しようと致します。

その中から、多少でも兵庫方式、新味

が出せないものかと、委員諸氏の苦慮を煩わして居ります。ただ会場の制約もあるとともに、勝手な言い方だが、掲げられるスローガンやテーマが余りにも高遠深大にして、短時日の大会が、これに如何に対処し、後に何か残されるか、実行される行事故何か、結論としてまた茫茫とした理想論の宣言決議に終始することは、極力避けたいものです。すなわち、できる限り手近い問題、実行される全一仏教の推進の方策を重点として、協議されんことを衷心期待いたします。したがって、議題提案等もこの主旨に副ったものに限定されんことを、全仏当局においても是非とも配慮をお願いいたしたいものです。

また、この大会を契機として、県下檀信徒の連絡、組織を作りたいと念願しています。少なくともその端緒でもつかみたい。しかる後に、毎年地方ブロック毎の檀信徒への教化対策を講じたいものです。これができれば、本大会の意義を一層盛り上げ、意義づけられることを深く信ずる次第です。

なお、蛇足を加えますなら、観光地に乏しいところですが、神戸は古い港、大手の造船所が林立していますし、灘酒で知られる灘五郷には巨大な酒庫が揃比しています。太閤さんゆかりの有馬温泉は市内に在って、繁榮して居ります。ご希望があれば、ご案内申し上げます。ご希望はありません。

ともあれ、皆様のご参加ご協力を冀いまして擲筆いたします。

第22回全日本仏教徒会議決算書

一金	3,500,000円	収 入	予 算	高
一金	3,523,000円	収 入	決 算	高
一金	3,500,000円	支 出	予 算	高
一金	3,484,620円	支 出	決 算	高
一金	38,380円	収 入	支 出	差 引 残 高

収 入 の 部

項 目	予 算 額	決 算 額	対 予 算 額		付 記
			収 入 超 過 額	収 入 未 済 額	
1. 全仏拋出金	1,500,000円	1,500,000円	0円	0円	組織局費より
2. 特別協賛金	2,000,000	2,023,000	23,000		19宗派本山(別表)
収入合計	3,500,000	3,523,000	23,000		

支 出 の 部

項 目	予 算 額	支 出 済 額	○増 流 用	▽減 額	予 算 不 用 額	付 記
1. 会 議 費	100,000円	97,170円		0円	2,830円	
2. 事 務 費	100,000	98,310		0	1,690	
3. 旅 費	300,000	270,300	△ 24,000		5,700	11項へ流用
4. 通 信 費	150,000	67,050	△ 80,000		2,950	5項へ流用
5. 印 刷 費	300,000	685,150	○385,150		0	4、12、14項より流用
6. 会 場 費	150,000	150,000		0	0	
7. 講 師 謝 礼	300,000	300,000		0	0	
8. 記 念 品 代	500,000	495,600	△ 4,000		400	11項へ流用
9. 中 食 代	200,000	225,000	○ 25,000		0	13項より流用
10. 接 待 費	200,000	191,900	△ 8,000		100	11項へ流用
11. レセプション代	450,000	491,000	○ 41,000		0	8項、10項、12項より流用
12. 宣 伝 費	250,000	239,150	△ 10,150		700	5項へ5,150 11項へ5,000流用
13. 雑 費	200,000	173,990	△ 25,000		1,010	
14. 予 備 費	300,000	0	△300,000		0	5項へ流用
支 出 合 計	3,500,000	3,484,620			15,380	

特 別 協 賛 金 一 覧

1	浄土宗・知恩院	300,000円	11	日蓮宗本山会	50,000
2	浄土真宗本願寺派	300,000	12	本門仏立宗	30,000
3	真宗大谷派	300,000	13	本門法華宗	20,000
4	天台宗	200,000	14	浄土宗西山禪林寺派	20,000
5	真言宗智山派	200,000	15	浄土宗西山深草派	20,000
6	臨濟宗妙心寺派	200,000	16	西山浄土宗	10,000
7	和宗四天王寺	100,000	17	真言宗山階派	10,000
8	念法真教教団	100,000	18	真宗興正派	10,000
9	全日本仏教婦人連盟	100,000	19	臨濟宗天竜寺派	3,000
10	真言宗御室派	50,000		計	2,023,000

昨年十一月開催された第二十二回全日本仏教徒会議(京都知恩院和順会館)の收支決算は、さる十一月二十九日の常務理事会において、別表のとおり承認された。なお、收支差引残高三八、三八〇円は全仏通常会計雑収入に繰入れられる。

第22回全仏  
会議決算

承認さる

# 低廉な住宅用地の

# 権利金は非収益

庁達  
税通  
国で

「全仏」昭和四十九年五月号に法人税法施行令一部改正と地方税法の一部改正に関する経過と改正箇所についての解説を掲載したが、昭和四十九年九月三十日付国税庁長官より各国税局長宛、法人税の取扱いについて左記のとおり通達が出されたので参考までに転載する。

和五十年五月の法人税申告に関する講習会を二月下旬に東京で開催し、加盟団体を通じ各法人に節税を呼びかけることになっていく。(K・I記)

通達の内容は、主として住宅の用に供される土地の判定と、低廉貸付の判定の基礎となる収入金額が規定された訳だが特に「当該契約の締結に伴い收受するいわゆる権利金の額は、その収入金額には含めないものとする」と規定されたことは注目に値する。すなわち当該貸付に係る土地（主として住宅の用に供される）に課される固定資産税額および都市計画税額で当該貸付期間に係るものの場合、非収益事業と見なされるが、権利金等の取扱い如何によっては、殆んどが従来通り、収益事業に該当し課税対象となるので、今回の通達によりその点が明確になった。

昭和四十九年度法人税関係法令の改正に伴う法人税（租税特別措置法関係を除く）の取扱いについて

## 第一 法人税基本通達の改正

法人税基本通達（昭和四十四年直審（法）二十五）の一部を次のように改正する。

### 十四 収益事業の範囲

28 15-2-1-6の次に、次の2項を加える。（主として住宅の用に供される土地の判定）

15-2-1-6の2 令第五条第一項

第五号へ（非収益事業の不動産貸付業）に規定する主として住宅の用に供される土地とは、その全部又は一部を人の居住の用に供する家屋のうち人の居住の用（別荘の用を除く）に供する部分の床面積の当該家屋の床面積に対する割合がき以上であるものの敷地の用に供される土地

また「権利金」については、名義変更料、契約更新料等、契約内容変更に伴い收受する金額とも広義に解釈してよいとの国税庁係官の談話を得ており、まことに朗報である。なお税法改正に伴い、昭

和50年1月1日

床面積の10倍の面積を超える場合を除く）とする。

（低廉貸付の判定の基礎となる収入金額）

15-2-1-6の3 規則第四条の二

第二項（非収益事業たる不動産貸付業の要件）に規定する貸付期間に係る収入金額は、契約に基づき毎年経常的に收受することとされている土地の貸付の対価の額によるものとし、当該契約の締結に伴い收受するいわゆる権利金は、その収入金額には含めないものとする。

29 付則第七条を次のように改め、昭和四十九年十月一日以後終了する事業年度から適用する。

7 削除

## インドネシヤ仏

### 教代表が来局

十二月七日午後三時に、インドネシヤ

政府より派遣されたアナング・スジョノ氏が、新宗連常務理事大石秀典氏に伴われて全仏を訪れた。

全仏としては突然のことであり、長谷川組織局長、鎌田国際部長が、東京本願寺輪番所応接室にて同氏と懇談した。A・スジョノ氏の訪日目的は、

(一) 日本の仏教寺院に対して、日本政府はどのような政策を立てているか

(二) 政治と宗教について

(三) 仏教界の組織はどうなっているか

等の調査研究のためである。氏は一月二十日頃迄滞日するが、その間に、日本仏教界の指導者層と会いたいとの意向である。なお同氏の話しでは、現在インドネシヤでは、宗教省があり、回教が国教的な宗教であるところから、回教局が一番大きく、次にイスラム教局が大きく、仏教・ヒンズー教局が一番小さい部門として設置されているが、宗教人口として最も少ない仏教徒は発言力も弱いといっていた。

## バンクグラに救済金

プデイストクラブの慈善の集いで

東京プデイストクラブ（安田圭司代表）では、十二月四日恒例の「成道会記念慈善チャリティーショウ」を東京赤坂プリンスホテルで開催した。

第一部式典では、武蔵野女子大音楽部学生による献灯献花、望月メンバーによる三篇依文発声に一同唱和。池坊専永師の保子夫人より「法話」があった。

第二部ではオークションに引続き、福引券の抽せんがあり、特等としてハワイ一週間招待旅行一名、香港迄の往復旅行券二人の豪華抽せんに、来会の六百名は大いにわいた。福引三角券は、今年は一

枚千円であったが、二百枚はまたたく間に売れた。第三部は水原弘ショー、数々のヒット曲を彼独特のジョークをまじえて披露し、午後九時十五分散会した。なお、今年のチャリティ先きは、次の各所で、安田リーダーより夫々の代表者に贈られ万場の拍手をあげた。

(一) 東京拘置所あて金一封

# バンングラの孤児を救おう

## 救援金続々寄せられる

既報のとおり、全仏ではバンングラディッシュの仏教孤児院に収容されている難民孤児救援の募金運動を展開しているが、一流大衆紙に報道されたこともあって、連日浄財が続々と寄せられている。

なかには一母子家庭からも貧者の一灯として捨財されているものもあり、事務局では感激して、さらに大きな運動となるよう努力しており、とくに仏教界各位の絶大なるご協力をお願いしている。

### バンングラディッシュ戦争孤児救援

ご協力者芳名(順不同・敬称略)

一、金五万円也

東京ブレイズクラブ成道会記念チャリティショー 森下洋二(吹田市)  
一、金四万七千二百円也

天台宗関信協布教師年次大会参加者  
一、金参万円也

津川堅治(大阪市)

(二) 点字図書館あて金一封  
(三) バンングラディッシュ戦争孤児救援に  
対して金一封  
(四) 八王子身障児の会あて金一封

なお、バンングラディッシュ救援は、目下全仏が主催して実施しており、当日全仏清風国際局長が出席して、これを救援金として受取った。

一、金貳万円也

栃木県立黒磯高校生徒会、宮崎報恩会(那珂湊市)  
一、金壹万貳千円也

一、金壹万貳千円也  
広瀬俊道(神戸市)

一、金壹万貳千円也  
滋賀県立大津高校二年二組

鈴木石油店(瑞浪市) 金子さとみ(柏市) 丸一淳(東大阪市) 宮下千代江(姫路市) 西村美奈子(舞鶴市) 林弘子(下関市) 大和市立浜谷中学校一年五組

一、金八千円也  
全仏職員一同  
一、金七千円也

大西ゆみ子(玉野市)  
一、金五千壹百五十円也  
源久寺(徳島市)

一、金五千元也

大山英雄(熊本県) S、小清水フジ子(新宿) 中西文夫(岩手県) 三輪訓子(姫路市) 中山吾一(鳥取県) 大谷紀美子(町田市) 伊原きよ子(池田市) 日下部徳太郎(千葉県)  
一、金参千円也

溝淵高子(豊中市) M、戸井田みね子(埼玉県) 川口栄子(神戸市) 飯井たつ子(神戸市) 渡辺一(大阪市) 鈴木章子(杉並区) 下田浄江(広島県) 堀佳代子(笠間市) 森永誠治(福山市) 菊池利喜(越谷市) 長手道一(神戸市) 松永忍(佐世保市) 村上昭雄(島根県) 白井伸江(舞鶴市) 品田利博(足立区) 井上剛治(大阪市)  
一、金貳千五百円也

岡不二枝(横浜市) 野原禮一(奈良市)  
一、金貳千円也  
高橋例子(品川区) 大川信彦(町田市) K、有村春江(兵庫県) 八木象三(新座市) 吉田俊子(西宮市) 笹下常雄(柏原市) 須藤光子(苦小枚市) 吉沢誠太郎(小田原市) 宇佐神節子(宇都宮市) 佐藤藤子(世田谷区) 高橋与三三(板橋区) 上利昭子(宇都市) 渡辺康子(大阪市) 森田好恵(北九州市)  
一、金壹千五百円也

千葉悦子(浦和市) 谷口悦子(高槻市)  
S  
一、金壹千円也

池田法雨(諫早市) 嶋田悦子(館山市) Y、佐々木(広島市) 市川長一(八戸市) 松村辰之助(神戸市) M、佐田は

ま(伊勢市) 江口亨(下関市) 新井留吉(戸田市) 櫻場泰子(横浜市) 多賀春江(名寄市) 田窪松二(大口市) 山下由紀子(尼崎市) 斎藤正男(宇都宮市) 吉川義範(宇都宮市) 吉田晃(東大阪市) 梅林しのぶ(神戸市) 香川光江(秦野市) 鶴岡明子(明石市) 新保知子(広島市) 九島時子(秋田県) 長谷川喜久子(横浜市) 田中藤一郎(宇都宮市) 島山智美(尼崎市) 亀田陽一(文京区) 山本英子(丸亀市) 大竹たき子(逗子市) A  
一、金五百円也

福田哲生(横浜市) 堀内康雄(横手市) 南川百合(三重県) B  
一、金四百円也

H  
一、金壹百円也  
長谷川衣類  
後藤くに子(板橋区)  
小計 四九三、八五〇円也  
(四十九年十二月十二日現在)

## 謹賀新年

### 曹洞宗々務庁

管長 岩本勝俊  
宗務総長ほか役員一同  
東京都港区芝二一五一一  
〒〇〇三(樹) 五四一一

新春特別寄稿

# 仏教界は今年、先ず何をなすべきか

(順不同・敬称略)

## 運動に共通テーマ

鎌倉大仏殿住職 佐藤 密雄

現在、各宗に例えば同朋運動、一隅を照らす運動、おてつき運動、その他各種の名称のものがある。全仏はこれ等の運動の代表者たちによって「仏教実践運動綜合会議」を持つべきである。そして、各運動の夫々の特殊な綱領の中に、一つだけ全仏教に共通するテーマを同文で持つことを提唱すべきであると考え。綜合會議は毎年開き、互に助け合ってその会の発展を期すべきものと考え。

## 宗派の垣根を越えて

高野山大学教授 宮坂 有勝

近年、各宗単位の記念行事は盛んに行われているが、それらは反面、歴史の今日的状況のなかで新しいセクト主義を生みやすい。

現実的には、宗派の垣根は越えがたいにしても、共通の課題や目標にむかって各宗が協力してやっていける事は限りなくあるはずである。被爆者援護、同和

問題、公害問題、ベトナム救援、世界人口問題等、仏教者の主体性を失わずに積極的に取り組んでゆきたい。

また、各国仏教団体との交友、親善をますます深めていってほしい。

さらに、核兵器廃棄、軍備全廃の立場を強く打ち出して、つねに内外に仏教の非戦主義を主張すべきである。そのためには靖国問題、国家神道の復活等、国民感情の複雑に絡んだ問題に対しても、明確な態度を表明しなければならぬであろう。

## 社会問題に取組もう

武蔵野女子大学助教授 花山 勝友

特殊な例を除き、仏教が現在の日本人一般の関心の対象となっていない理由の一つは、現実の社会問題に対する仏教者のあいまいな態度にあると思われる。

生きている人間が、この現実の人世で悩み苦しんでいる様々な問題に対して、現在の仏教界はどんな解答を与えているだろうか。

戦争、公害、人口問題、インフレ、社会福祉等といった問題に対し、全仏教界

が団結して一つの結論を出すことが出来れば、一つ一つの宗派の出ず意見よりもはるかに大きな力を發揮することは間違いない。

そのためには、まず小異を捨てて大同につくことである。

敢えて言えば、仏教界がセクト主義を捨てて、本当の意味での「全仏」運動に援助の手をさしのべた時、仏教は「生きた宗教」になると信ずる。

## 科学技術超えた知慧

東大名誉教授 若林 勲

小さい虫でも自分の体の何倍もある長い触角をふりながら、まわりを警戒しつつ動いてゆく。人間は一本の触角を持たないけれど、地球の反対側の出来事を知り、過去、現在のことから未来まで予測する。

理化学は宇宙物質界の普遍的法則を明らかにし、もって未来を予測するのだ。であるのにエネルギー危機とか公害が避けがたい天災のように騒がれるのは何故だろうか。

先憂後楽などという古い言葉を誰れも

言わない。が科学技術の開発には評価とすることが大切だ。科学技術の知識のほかに、それを動かす知慧というものが科学を超えたところにあることを忘れてはならない。

先憂後楽はマジョリテイのなかに求めることはできない。現代の弘法大師は諸国を行脚する必要はないが、未来まで見える望遠鏡を手にして、科学技術を叱咤激励して頂きたいと思う。

## 全国寺院へ統一標語

本願寺派善福寺住職 麻布 照海

インフレ、デモの連続、物価上昇、金脈政治、保革の争い等で、政治経済の不信を来たし、公害により科学文明にも疑義をもたらせるなど、今日ほど世論がやかましい時はない。それで社会は現実には激動している。然るに仏教界は未だ封建遺制の名残りを止め、真の教団民主化は遠く、国会をまねて派閥に明け暮れ、政権争いに終始している。真になげかわしいことである。全仏は全一仏教運動を主旨としている。今こそ各宗各派は一丸となり、護法の上より全一仏教運動をもっと推進すべきである。

各宗では自己の標語を發表しているが、全仏は全一仏教の上より、大衆仏教徒を対象として、各宗よりその協調を求め、統一標語を發表し、日本全国の各寺に標語と主旨を送り、一年中の運動として推進すれば、全仏教徒に一貫した主旨が伝達され、仏教徒としての意識を高

め、明るい社会を建設することもでき  
る。従来は全国大会だけの標語で終り  
あるが、これを生かして、一年を通して  
すみからすみまで浸透するような標語で  
仏教運動を推進したい。

## 価値観の逆立ち正す

文化専門委員 摩尼 清之

正見は八正道の第一義である。にもか  
かわらず、こんにち人間生存の価値観が  
おどろくべき逆立ち状態になっているの  
をわが仏教界は黙視している。たとえ  
人間生存の第一条件である農業を軽視し  
農民は自からをさげすみ、出稼ぎとい  
う昔の中国の苦力(クリー)のような存在  
に転落している。そして耕地は地方を失  
い、農業は崩壊寸前に瀕している。

都会的虚飾にあこがれ、人間存在に何  
が第一主義の価値であるかを忘れてしま  
ったこの倒錯を正すことが仏教の第一使  
命であろう。

## この30年何をしたか

東洋大学講師 山折 哲雄

私は、日本の仏教界は今年先ずなにを  
なすべきかを考えるよりは、戦後の三十  
年間を、日本の仏教界が何をしてきたか  
を考えることが、より一層関心があ  
る。なぜなら、そうすることによって、  
戦後の三十年、日本の仏教界が何をして  
こなかったかということが、明らかにさ  
れると思うからである。

おそらく仏教界は毎年のように、とき  
の政治状況に左右され、ときの思想潮流  
に刺激されて、そのときどきの抱負と使  
命感を内外に宣明してきたに違いない。  
そしてそれにもかかわらず、その抱負や  
使命感が、十分に満たされなかったとい  
う傷みと羞恥の感情をこれまで持ちつづ  
けてきたのではないかと思う。だから、  
過去三十年間、何をやってきたかを点検  
して、何をやってこなかったかを自覚的  
に明らかにしていくことから出発すべき  
ではないかと思うのである。できれば、  
戦後三十年などとケチなことをいわずに  
明治百年にわたる日本仏教界の自己点検  
史という仕事にとりかかってはどうであ  
ろうか。

## 沖繩に仏教振興を

相模工大助教授 佐伯 真光

日本人は熱し易く、さめ易い。数年前  
あれほど騒いだ沖繩問題を、たいていの  
人は忘れてしまっているように見える。  
その意味では、今年ひらかれる海洋博は  
人びとの目を再び沖繩に向け直すチャン  
スではないか。私は今年こそ、仏教界が  
沖繩問題と真剣にとりくむべき年ではな  
いかと思う。

戦争とその後占領政策の結果、宗教  
地図をぬりかえられてしまったのは、沖  
繩と小笠原である。占領軍のキリスト教  
優遇策は、本土ではさして効果をあげな  
かった。しかし、ながく占領下にあった  
これらの島じまでは事情がちがいが、キリ

スト教化がある程度成功した。というこ  
とは、相対的に見て、日本じゅうで仏教  
が最も弱いのは、沖繩と小笠原だとい  
ことになる。

沖繩の仏教振興は、各宗ばらばらでは  
効果があがらない。全日本仏教会が広い  
立場からリーダーシップをとるべきだと  
思う。今年こそ、沖繩における仏教の失  
地回復を真剣に考えるべき年である。

## 社会悪の告発の年に

文化専門委員長 真深 義貫

機構、財政はいずれも三流企業にも及  
ばない教団が割拠し、教学は訓詁的、そ  
して寺院は信仰、闍法の場ではなく、觀光  
・祈祷・葬儀の場所であり、寺族の私有  
物に墮して、さらに檀家は単に墓地  
を寺に委託しているという形の現況では  
大衆は教団や、その構成員に今更望むと  
ころはないという人々が多い。

しかし、仏教そのものについては心あ  
る人々は大変関心を持っている。驚くべ  
き発達を遂げた物理学が究極的にならわ  
しつつかある宇宙像と、仏教の考え方はほ  
んど違いはないとする科学者もいる位  
である。むしろ人間が犯した科学的失敗  
をアセスメントするものは仏教にしか  
ないとする者すらいる。

今年こそ、仏教界は総懺悔することに  
よって仏教の本姿に直参し、人類の危機  
救済に立ち向うべきである。人類の危機  
は、一切のエゴイズムを超越することか  
ら解消の途が開かれる。

自利利他の仏教の精神から社会悪を勇  
気を持って告発してゆく年であって欲し  
い。

## 災害避難所に寺院

組織専門委員 岩本 英樹

政府特に環境庁にたいし、全国寺院を  
「非常時災害避難所」として指定協力  
することを、積極的に申し出ることを目  
標。

時代即応の仏教推進の一環として、現  
実の暗い環境特に過密化地域に予感され  
る人命危機の不安を少しでも解消するこ  
と。これは未来社会への希望をつなぐ第  
一步にもなる。

この一年、各宗派団体そして日宗連と  
同意協議し対策案を出すことは、住みよ  
い社会づくりに取り組む仏教界の態度で  
はあるまいか。

## 人口問題の再提出を

国際専門副委員長 新美 孝道

全仏新年度の方途は、各県仏、各宗派  
が全仏に参加し、予算を増額して、現代  
の道義を救うには仏教以外に道はありま  
せん。

昨年全仏大会に人口問題をとりあげた  
が、本年も全仏大会には、ぜひもう一度  
この問題を提出していただきたいと思  
います。

### 第三回教化担当者会議開く

## 二十数宗派より参加

### 林靈法師が基調講演

日ごろ各宗団はそれぞれ積極的に教化伝道にあたっているが、さらに横の連絡をとりつつ、問題を互いに研究し参考にし、また、通仏教的な面においては協調して、より大きな教化運動が展開できないものかを探るべく、全仏では三年

前より各宗教化担当者会議を開催してきたが、その第三回目の会合が、さる十一月三十日、京都妙心寺花園会館を会場に開催された。

開会式のと、浄土宗大本山知恩寺法

## 「仏教の新しい伝道について」

(講演要旨)



林 靈 法 師

それぞれ各宗におきまして宗学、宗乘の立場から熱心な教化をおすすめいたします

いておりますが、限定された教義教化をこえまして仏教の思想が現代にどういう役割を果すものか、またどういふ尊い役割を果さねばならないか、ここまで目を開いて進めていかななくてはならないと思えます。その様な広い立場は、まことに全日本仏教会の指導せられるところの今日以後に重大な一つの役割があると存じ

主林靈法師が「新しい伝道について」基調講演をされ、つづいて真深義貫師が問題提起を行なった。午後からは全員によるデスカッションが行われ、熱心なる話し合いのうち種々の成果を収めて、午後三時すぎ閉会した。

なお、当日は、曹洞宗、東西本願寺、浄土宗、日蓮宗、真言宗豊山派、智山派、高野山、新義真言、醍醐派、大覚寺派、善通寺派、天台宗、念法真教、真宗木辺派、興正派、西山浄土宗、臨済宗妙心寺派、天龍寺派、本門法華宗など二十数宗派より担当の部長を中心とした約四十名余りが出席された。

ます。

日本の仏教がその思想の内容を現代に訴えていくに二つの立場に向っていかなくてはいけないと思えます。第一は公害問題に対して、それから第二は現代の政治経済の問題に対してです。公害問題は医学とか技術・自然科学の問題で仏教にはなにも関係がないように思われて、各宗の仏教者の方は安心とか、信仰とかという所へ入りこんでいるようです。しかしそれは本当の信仰、安心でないで現実の実際の問題に人間がどう対処していくかという主体の掘下げが安心です。この公害問題、これこそ仏教徒が今日根本的な解決の道として発言をしなければならぬ大きな問題です。

だいたい人間と自然とを対立的にはつきりわけて、自然界は単なる物である、そして人間は精神的な心のあるものであると勝手にわけたのは近世以後デカルト等が中心になった、ヨーロッパの支配的な哲学、思想の結果です。それが段々発展して人間の知性を人間の限界をこえて、そして神の座までもちあげていきました。人間は知性の産物である科学学問の力によって自然界を征服して今日の物質の一応豊かな便利な人間生活というものを實現してまいったのです。所が人間の世界よりも現代においては自然の世界が真実を語っているわけです。

### 世界観の立て直し

大乘仏教においては諸法実相、一念三千論で国土成仏、草木悉皆成仏と説き、自然の世界も人間もすべて重々無尽の關係にあるわけです。人間本位のヨーロッパの人間観を仏教の人間観から見ただらば、根本的に大きなあやまちであったわけです。日本も明治以後ヨーロッパの近代主義の人間観をそのままうけた結果、政府の行政処置一つを見ても、公害が出ました、それを後から追ってわずかに押えていこうという様な傾向です。私はその問題の根本的な解決は、一人人間というものがどういふものであるか、その世界観、人生観の立て直しをしなければならぬと思えます。すべて宇宙の大きな縁の力によって、本願のお育てによって、あるいは空の論理によってみんな生かされて生きておるといふ大乘仏教

京都の花園会館で開かれた教化担当者会議



の万物共生の世界観というものが、今日  
は世界的に求められ、それを訴えていく  
ということが先ず第一です。

第二の問題は社会問題ですが、具体的  
な例としてヒッピーの問題を出してみま  
す。これが文明社会で何故おこったか、  
ここに問題があります。文明社会では機  
械の部品のように物質化された生活を送  
っていかねばならない。しかし、彼  
等は二度とない人生を有意義に生きたい  
本当に生きているという実感をもちたい  
と思っている。般若心経が彼等の間で読  
まれています。これは禅というものが  
本當の自己、宇宙の大きな生命と一つに  
なった自己をとりもどそうとするもので  
あるためだと思えます。私共は、彼等が  
努力している姿、何を目的としているか  
を見ていかなければならないと思いま  
す。

### 生きがい求める若者

私がパリに行った時、学生運動家に会  
い話を聞きますと、「私達は豊かになっ  
たおかげで退屈で最後には死なねばなら  
ぬ、そんな社会より物がなくても生きが  
いの感じられる社会を求めている」とい  
うことを言っておりました。また、二十  
歳で自殺した女子学生が書いた「二十歳  
の原点」という手記を読みますと、自分  
の生きがいを、生きがいと言っている。  
彼女は自分の生きがいとしていた新  
左翼運動に絶望して自殺してしまいま  
す。この時に誰か仏教的な本當の気持を  
もったものが会ったならば、そこで生き

ることの尊さをしみじみと与えることが  
できたのではないだろうか。

人間が生まれ出た背景を考えてみます  
と、時間的、空間的に無限の、重々無尽  
の縁起の結晶のあらわれである。そのう  
ちの一つでも欠けても生命は生まれでな  
い。人間の生命は短いものであっても、  
今日一日生きて本當によかった、自分の  
今日の一日の背景には無限の宇宙の生  
命の結晶があるという宗教的実感がなけ  
れば、本當の生きる姿の尊さというもの  
は出てこない。だから、老人も若人も、  
唯今そこにその姿での行住坐臥が、すべ  
て生きることの厳肅な事実であることを  
しみじみと味わっていくというこの宗教  
的な人間観、世界観をそこに与えていか  
なくてはならないわけです。

### デスカッションで各担 当者から活発な意見

のムードが今日日本にも入って来てい  
る。いずれはその反宗教的な立場と仏教  
は対決して解決していく歴史的な役割が  
私は日本仏教に与えられていると思いま  
すが、各宗団は今日までの出来た路線の  
上にのみ活動が限られて到底歴史的なこ  
の様な大きな問題には対決出来ない。私  
は仏教に熱意ある志ある若い人々、宗門  
の子弟等を集めて伝道学校の建設が必要  
急務であると思えます。そうして現代、  
自然と社会の問題に対して大乘仏教はは  
つきりした指導原理を持っているのだか  
ら、それを明らかにして混乱している人  
々を救済していかなくてはならない。

### 謹賀新年

な意味から伝道者は最大の熱意をもって  
大乘仏教の思想信仰に燃えることが大切  
である。そうして常に仏教が社会に対し  
て、政治経済まで影響を与える様な発言  
と告発をしていかななくてはならない。仏  
教を現代化することではなくてむしろ現  
代を仏教化することが我々のつとめであ  
ろう。

その為にはあらゆる手段、例えば市民  
運動の指導、現世利益を媒介とした仏教  
への導入、学生を中心にした若い人々を  
対象にした仏教読本の編纂等を強力にお  
しすすめていかななくてはいけない。そし  
て布教伝道を中心にした日本全国の仏教  
徒の結集、各県仏の統合組織を少しでも  
早く実現していくことだ、といった意見  
が各宗の教化担当者の間から出された。

財団法人 埼玉県佛教会

会 長 石川 隆 惇

副会長 大島 見道

〃 石塚 大喜

事務局長 北之内 真竜

〒336浦和市高砂四丁目一三二一八  
電話〇四八八一六一一二二三八

大学にかけての教育においては、この人  
生を如何に生きていくかという人生観、  
世界観を少しも与えていない。受験準備  
の知識は与えているが、それは断片的な  
ものであって、現代に対処して如何に生  
きていくかという主体的な人生観という  
ものを、日本中の大多数の若者達は無意  
識のうちに求めているわけです。

このような状況をふまえて、私共  
は具体的に一体どのようにそれに対処す  
ればよいか。色々と方法がありますが、  
第一に大切なことは、各宗における宗内  
教育というものを共同して進めていくと  
いうことが必要だと思えます。

今日、中国・ソ連は宗教は認めている  
が宗教の宣伝は認めていない。その革新

午後からのデスカッションは真溪文化  
専門委員長が司会となつて行われた。  
現在色々な意味で危機感が叫ばれてい  
るが、一般大衆はそれほど意識していな  
い、同じ様に仏教に対してもそれほど必  
要性を感じていないのではないか。それ  
に対処していくためには、更めて各宗派  
はもう一度宗教史を学問的に研究し、伝  
統を再び打ち直して「仏教とは何か」と  
いう仏教の特質をとり出して統一したそ  
して行動力をもった仏教界の組織化が望  
まれる。

日本仏教からいつたら歴史的な終末論  
はなく、仏教に於ける末法論というのは  
人間が生まれ変わって歴史の生命を救うため  
の前提としての末法思想である。その様

# 新年 賀 謹

## 浄土宗宗務庁

浄土門主 岸 信宏

宗務総長 稲岡 覚順

総務局長 滝沢 教夫

教学局長 稲岡 法純

財務局長 水谷 徹道

社会局長 飯田 信弘

総長公室長 大橋 良憲

宗務支所長 野村 宗春

浄土宗開宗八百年記念慶讃事務局

局長 梶原 重道

企画部長 飯田 信弘

庶務部長 梶原 重道

京都市東山区林下町四〇〇  
〒605〇七五(五四一)七三一一

## 臨濟宗妙心寺派

管 長 梶浦 逸外

宗務総長 江西 寛堂

総務部長 後藤 純一

教学部長 竹中 玄鼎

財務部長 梶田 泰賢

花園会本部長 原 英嶽

法務部長 渡辺 琢山

京都市右京区花園妙心寺町  
〒616〇七五(四六三)三一二二

## 真言宗豊山派宗務所

管 長 鳥居 敬誉

宗務総長 浅井 堅教

総務部長 中川 祐俊

財務部長 久保 太清

教務部長 高山 宥進

教化部長 吉田 俊誉

東京都文京区大塚五十四〇一八  
〒112〇三(九四五)〇六三九(代)

## 真言宗智山派 総本山智積院

管 長 竹村 教智

宗務総長 別所 弘因

総務部長 小沢 照禧

教学部長 岡田 昌道

法務部長 岡本 実良

教化部長 斎 隆套

出張所長 小宮 勝憲  
別院主事

京都市東山区七条東瓦町九六四  
〒605〇七五(五四一)五三六一

# 謹賀新年

## 念法真教々団

燈主 小倉 靈現

管領 小倉 良現

大阪市鶴見区緑三十四一三二  
〒538 〇六(九)二一〇一

## 孝道教団

統理 岡野 正道

副統理 岡野 貴美子

統務者 岡野 輝勝

横浜市神奈川区鳥越三八  
〒221 〇四五(四三二)二一〇一

## 本門法華宗

管長 永井 日揮

総長 増田 宏雄

議長 中村 弘通

執事長 佐野 日紀

京都市上京区寺ノ内通大宮東入  
妙蓮寺門前町八七五  
〒602 〇七五(四五二)三五二七

## 聖観音宗 金龍山 浅草寺

管長 清水谷 恭順

宗務総長 壬生 台舜

東京都台東区浅草二一三一  
〒111 〇三(八四二)〇一八一

## 臨濟宗南禅寺派

管長 勝平 宗徹

京都市右京区南禅寺福地町  
〒606 〇七五(七七二)〇三六五

## 曹洞宗大本山 永平寺

貫首 佐藤 泰舜

監院 宮崎 文輝

福井県吉田郡永平寺町

## 曹洞宗大本山 総持寺

貫首 岩本 勝俊

副貫首 乙川 理映

監院 成田 芳髓

横浜市鶴見区鶴見二一一一

## 浄土宗総本山 知恩院

門跡 岸 信宏

執事長 鶴飼 隆玄

局内 一同

京都市東山区林下町

## 真言宗智山派大本山

### 成田山新勝寺

貫首 松田 照応

千葉県成田市成田一番地

## 真言宗智山派大本山

### 川崎大師平間寺

貫首 高橋 隆夫

院代 原 教連

執事 茂木 隆応

総務 馬本 克美

## 修験道大本山

### 高尾山薬王院

貫主 山本 秀順

東京都八王子市高尾町二七七

# 新年賀謹

## 青森県仏教会

会長 対泉院 上田 頼石

事務局長 願栄寺 吉川 正英

〃 次長 妙現寺 秋田 堯順

會計 涼雲院 泉山 益宣

〃 長流寺 大和 玄悦

庶務 淨木寺 中村 泰順

〃 高明寺 中村 光伸

〃 本寿寺 笹本 義顯

〃 青竜寺 広田 竜昌

事務局

八戸市十一日町五八 願栄寺内  
〒031 〇一七八(二三) 一四〇二

## 大阪府仏教会

会長 西口公教(国分寺)

副会長 鷺地一隆(本照寺)

〃 井上文克(妙信寺)

事務局長 川口良信(全興寺)

事務局

大阪府大淀区国分寺町四一  
一 国分寺内  
〒541 〇六(三五) 五六三七

## 京都府仏教会

会長 梶浦逸外

副会長 渋谷有教

〃 沢崎梁寿

〃 横井鶴洲

事務局

京都市中京区烏丸通三条下ル公  
益社ビル五階  
〒600

社団法人

## 全日本仏教婦人連盟

会長 大谷智子

副会長 一条智光

〃 岡野貴美子

理事長 山本 杉

事務局長 船口暉子

事務局

東京都世田谷区桜上水四一九一七  
〒156 〇三(三〇) 一五九八

財団法人

## 国際仏教興隆協会

名誉総裁 岸 信宏

会長 賀屋興宣

理事長 巖谷勝雄

役員 一同

東京都目黒区中目黒五十二四一五三  
祐天寺内  
〒153 〇三(七一) 七六〇八

財団法人

## 日本仏教鑽仰会

理事長 中山理々

神田事務所

東京都千代田区内神田二一三一五  
鎌倉ビル内  
〒101 〇三(三五) 四九一一

# 「人口問題について」

大来佐武郎氏の講演要旨(二・完)



第22回全日本仏教徒会議で講演する大来氏

国連は一九七〇年に総会で世界人口会議の開催を決め、一九七四年を世界人口年と呼ぶことに致しました。この会議に私は出席しておりまして、色々な議論が出ましたが、一つの論点は人口の動きと経済社会の変化と非常に密接な関係があるということでございます。日本の諺にも「貧乏人の子たくさん」というのがありますが、今の世界はまさに貧乏人の子たくさんになっておりまして、貧乏な国で非常に急激な人口増加がおこっているわけでございます。ある程度経済がよく

なりますと子供を産む数が減ってくる。よく聞く議論ですが、貧乏な国で人口がどんどんふえている、こういう貧乏な国を援助すればますます世界の人口がふえるばかりではないかという意見がございます。しかし、もう少し深く考えてみま

すと、こういう貧乏な国の経済がある程度よくなりまして人口の増加率は急に減ってまいります。日本も所得が上るに従いまして人口の増加率が減ってまいりました。日本の近所の国々、韓国や台湾、シンガポール、ホンコンという国で

まれる割合が大体半分には減っているわけでございます。これはやはり所得の増加、経済の発展が非常に大きく影響している。

なにしろ、貧乏ですと農村に電灯もつかず、夜になるとまっ暗になるのでどうしても子供がふえやすい。医者も少ない、病院も少ない、それに栄養が悪い、死亡率というのが貧乏な国では非常に高いわけですから、インドの農村調査などで母親に一体子供が何人もちたかということ、六人というのが非常に多いそうでございます。この子供というのは親が年をとった時の保険の意味がありますので、農村の慣習からいえばやはり男の子の後継をつくらなければならない。

しかし、子供が大人になるまで無事に生きのびるかどうか、子供の死亡率が高いから不安である。そうすると、男の子を三人産めばどうやら大丈夫だろうということになり、あと三人女の子が産まれるということ、結局六人というふうなことになるわけでございます。やはり、経済社会の状況がよくなっていくというのが、人口増加のいきすぎを抑えるのに有効なものではないか、この点が今度のプカレスト会議でとりあげられまして、第一委員会というところで討議されたわけでございます。

それからもう一つは、婦人の地位ということが非常に議論になりまして、来年は国連の婦人年ということもあり、婦人の地位向上ということが世界の大きなテーマになっているわけでございます。人口会議でございますから、婦人に関連した問題が非常に多いわけでございますが、各国の例をみましても、婦人の地位が向上しますと子供の数が減るということがいえるようです。これは、教育の年限も長くなり知的水準も上がってまいりますと、そう子供ばかりつくってられないという気持ちになり、また共かせぎもふえてきて子供の数を制限しようという状況が出てくるわけでございます。

それからもう一つこのプカレスト会議で議論に出てまいりましたのは、金持の国は食糧その他資源を浪費しすぎるのではないか。その資源を大量に浪費している国が、食糧、資源が足りないからといって、貧乏な国に人口をふやすなどという

のは話がわからないという点が開発途上国から出されたわけですが、これは、日本もそうですが、先進国になりますと食糧の中で畜産物の消費がふえてまいります。牛の肉から穀物をとろうとしますと大体七倍の耕地がいる。つまり、人間が直接穀物を食べる場合にくらべて、牛肉から同カロリーをとろうとすると七倍の土地が必要になるわけです。従って、耕地面積あたりのやしなえる人口の数が少なくなってまいっているわけです。これはある意味では、今の世界では飢え死にしかかっている貧乏な国々の人達の食糧と豊かな国々の家畜のエサ、これが競争関係にあるという言い方もできるわけでございます。これは別の会議でしたが、先進国の人達は食糧が足りないし人口を抑制すべきだというのが、それならばまず先進国のベトナム・アニマルの増加をおさえたかどうか。アメリカではキャット・フードとかドッグ・フードとかいうようなものを沢山消費しているが、人間の方が大事じゃないかというような議論もきかれました。

## 考え方に五グループ

こんどのルーマニアの会議では人口行動計画というものを最後に採択する予定になっておりまして、この採択をめぐりまして非常に議論がわかれました。今まで一年以上、アジア、アメリカ、ラテン・アメリカ等各地で会議をやったり、色々な専門家の会議をやったりしながらこの行動計画の原案をつくってきたので

こんどのルーマニアの会議では人口行動計画というものを最後に採択する予定になっておりまして、この採択をめぐりまして非常に議論がわかれました。今まで一年以上、アジア、アメリカ、ラテン・アメリカ等各地で会議をやったり、色々な専門家の会議をやったりしながらこの行動計画の原案をつくってきたので

すが、その原案に対して三百以上の修正意見が出るというようなことで一時は蜂の巣をつついたような状態になったわけです。どうやら最後になってこの行動計画がまとまったわけですが、この議論を通じまして、人口問題に対する世界各国の考え方は大体五つのグループに分けられるのではないかと印象を受けました。

一つは、アフリカとラテン・アメリカであります。我々のところはまだ土地もあるし資源もある、足りないのは人口だ。だから人口の増加をおさえる必要はないという意見です。また、アフリカの一部の代表からは、我々は自分達が欲しいのに数千万の人口を失ってしまったからこのあなうめをしなければならぬという意見もできました。いずれにしても、アフリカ、ラテン・アメリカの国々はこの人口抑制ということに対して激しい反発を示したわけですね。

第二の立場は、ソ連、会議の開催地のルーマニア、ハンガリア等の東欧諸国ですが、ここでは近年人口増加率が急激にさがり、少しさがりすぎではないかという心配をもちはじめているわけです。ルーマニアでは新しい法律をつくり、人口制限は子供四人以上でなければいかんとか母親の年齢四十歳以上でなければいかんというような制限を設けました。ソ連東欧諸国等の社会主義国では、男女同権であり共かせぎをする、見方によっては夫婦共かせぎをしてやっと一人前の収入になるといえますが、共かせぎをする

と人口の増加率が低くなりすぎて心配だというような事情があるようです。

第三のグループとしましては西欧諸国フランスはちょっと立場が違いますが、アメリカ、カナダ、日本などのいわゆる先進国といわれる国々です。この国々では少産少死の人口状態にほぼ達していますが、貧しい国々で年三%も人口がふえると世界の将来がどうなるか心配であるという立場から人口問題に非常に熱心でございます。

第四のグループは、インド、バングラディッシュ等のアジアの大多数の国々で現在人口の重圧をひしひしと感じており、政府も色々な政策をとりはじめております。会議の後半になりました、これらの国々と西側の先進諸国が連合してまきかえしをやり、骨抜きになりかかっていた行動計画をどうやら実のあるものにしたというような実情です。

最後の五番目の立場として中国がございます。これは非常にユニークな意見で貧乏と人口増加は関係がない、貧乏の原因は対外的には帝国主義、植民地主義、国内的には社会改革のおくれ、収入所得の不均衡であり、これらを改善すれば人口問題は自ら解決するという考え方でございます。私も二年前に中国にまいりましたが、世界の中で最も徹底的に産児制限をやっているのは中国だろうという印象をうけました。

今のような五つの立場が入り乱れ、なかなか議論が大変だったわけですが、最後には先程申しましたような形

で、どうやら人口行動計画というものが採択されました。

### “静止人口”について

日本の立場と致しましても、日本はほぼ人口増加率一パーセント、私も実は厚生省の人口問題審議会の委員を十年位しておりまして、今回の国連の人口会議の準備特別委員会というのが人口問題審議会の中に出て来て、その委員長もしました関係もあってブカレスト会議に行っただけでございますが、その人口問題審議会における日本の考え方は、とにかく静止人口に到達するのを目標にしています。人口の増減がほぼ横ばい状態に到達する今の日本の人口状況から言うと、今から六十年位後には、約一億四千万、ついで先だつて一億二千万を越えたわけでありますが一億四千万位の所で、だいたいそのいわゆる安定人口といえますか、静止人口に到達するだろうと検討しておりますが、これをめぐって相当議論があります。一億四千万までいってはこの狭い四つの島で暮すのは大変だと思いがすが特に食糧問題、エネルギー問題等も考えれば、大変ではないかという考え方とかにかくその辺で増加が止まれば、なんとか日本人はやって行けるのではないかとこの見方がございます。

世界人口会議に先だちまして七月の始めに東京で、日本人口会議を開催致しまして私が議長をしたわけですが、この時の議論におきましても、“子供は二人まで”という意見が出ました。これ

も大会宣言の起草委員会で議論があったことですが、子供は二人までということになりますと、子供を産まない婦人もおられますし、一人だけの所もありますので、むしろ人口は将来減少する形になります。二人産めば、一人、つまり平均して半分が、女の子になりますから一定の年に達すれば、また子供を産むというふうになり、母親の後継が出来るわけでありまして、だいたい各夫婦が二人ずつ子供を持つと、その半分が女子だという状態であれば静止人口になります。当分の間は過去に子供が増えておりまして、その子供が母親となり、その母親あたりの子供が二人になれば、つまり六十年位たつと、一億四千万位では安定した人口状態になります。

日本の場合には、考えようによっては人口の数については、ほぼどがたつ段階まで来ているわけです。人口の老齢化の問題とか、人口があまりに都市に集中する問題とか、その他安全確実なこの避妊方法をもっと考えなければいけないとか、いろいろの問題がございますけれども、見方によってはこの数に関する限りは、かなり解決点に近い所にきています。しかし同時に日本をとりまくアジア諸国をながめると、お隣の中国は一生懸命努力していますが、それでも年に二パーセント位は増えていきます。八億の人口の二パーセントということになりますと年に千六百万は増えるわけですが、東南アジア諸国になりますと三パーセ

ント位増えているところが多いわけであり  
ります。三パーセントですと、先程の七十  
を三で割りますと二十三年四年で人口  
は倍になるわけですから、五十年たつと  
四倍になります。七十五年で八倍になり  
百年で十六倍になるといふような勢でこ  
ざいますから、やはり日本としてはでき  
る限り他のアジア諸国の人口増加の抑制  
といひますか、増加率を下げるための技  
術援助あるいは経済的な援助も必要な限  
りやるといふ必要がありましようし、同  
時にこれらアジア諸国の食糧生産、農業  
生産、特に食糧生産の増加について日本  
の知識、経験あるいは経済力をできるだ  
け役立てる必要があるのではないかと思  
います。

### 食糧協力は安全保障

これは私も申しておることで、  
日本は今、食糧の五十パーセントを輸入  
にあおいでいるわけです。その七割ない  
し八割はアメリカから来ているのですが  
この主要な食糧（小麦、大豆、とうもろ  
こし、こうりゃん、とうもろこしとこう  
りゃんは家畜のえさであります）この  
四つものについてみますと、だいたい  
その八割近くがアメリカから入っており  
ます。穀物全体の五割が輸入ということ  
になっていきますので、やはり日本人が將  
来も食糧の心配をしないでやっていく  
ためには、少なくとも自給をしなければ  
いけないのです。日本の食糧の輸入が円  
滑に行くということがわれわれの食糧面  
での不安を除くために必要なのです。

今迄ですと、お金があれば食糧が輸入  
できるということで、日本は戦後、いろ  
いろ公害その他の問題もございましたが  
工業の発達に努力致しまして、その工業  
製品を輸出して外貨を稼ぎ、その外貨で  
食糧その他を輸入するというところで、  
やってきました。近頃では、環境問題か  
ら工業というのは又工場というのは、何  
か悪者のように考えられておりますが、  
一面そういうことで日本人の栄養がよく  
なつてまいりまして、たんぱく質の摂取  
量も増え、カロリーも増えて、昭和十年  
頃に比べますと日本人の平均寿命は現在  
二十五年長くなっております。今の乳幼  
児死亡率も最近では千人あたり十二人、  
だいたい世界最低の水準で戦前は百人を  
越えていたと思ひますが、非常に子供の  
死亡率が下つてまいりました。栄養不良  
の病気がつた結核も私共若い頃には  
非常に多かつたのですが、これも経済が  
成長した結果、とにかく結核というもの  
が非常に少なくなりました。

我々はこの経済の発展、工業の発展、  
それによって外貨その他原料も輸入する  
ということ、今の日本人の生活、経済  
が維持されているということは忘れるわ  
けにはいけません。長い将来を考  
えますと、やはりアジア各国の人口増加  
率が下がり、アジア各国の食糧の生産の  
テンポがひきあはれるということに日  
本ができるだけ協力するということは、  
日本自身の広い意味での安全保障でもあ  
るように思ひます。ただこれからの日本  
の問題を考えてみますとまだまだ生活を

よくしなければいけないことは沢  
山ございますが、健康とか、一般的な教  
育の普及とか、栄養とかという面ではま  
ずまずの所にまいったわけで、寿命にお  
きましては北歐諸国、スカンジナビア諸  
国とほぼ同じ世界最長寿命国の一つに日本  
は到達したわけでございます。

これから先、経済をいつまでも今まで  
のように高度成長していかなければいけ  
ないかということになりますといふいろ  
問題がございます。資源の問題、エネ  
ルギーの問題、環境の問題、栄養の改善と  
いふのもあるところまでは、非常に病氣  
を減らし、寿命を長くするプラスが大き  
いわけでありますが、ある程度以上この  
栄養がよくならずと、今度は逆に心臓  
病が増えたり、リュウマチが増えたり、  
つまり贅沢な食糧を食べることが、か  
えって健康にマイナスになるという結果  
がでてまいります。ですから人間として  
とにかく健康で教育をうけて、ある程度  
長生きする必要といふものはどうしても  
維持達成しなければなりません。それか  
らどこまで先さらに贅沢を求めるか、人  
間の欲望はきりがありません。それが、  
その欲望について、すべての問題の  
かぎりない欲望を充すためには経済の面  
社会の面、資源の面、どれをとつても限  
度が出てくるのではないかと思ひます。  
私もローマクラブというのに関係して  
おりますが、これは数年前にヨーロッパ  
の数人の人達がやはり有限の地球上で人  
口と工業生産が無限に増えていくとすれ  
ば、どこかで壁にあたるのではないかと

いふようなことから、いろいろ考え出し  
まして、だんだんこの世界的にも大きな  
反響を呼ぶようになって来ております。  
三年程前に成長の限界という本をローマ  
クラブが、アメリカの若手の学者達に頼  
んでやってもらった研究であります、  
これが非常に世界的な反響を呼びまして  
さらに今度のベルリン大会では第二の報  
告で、転期にたつ人間社会という報告が  
作成されました。とにかく、人間生活の  
ものの豊かさといふものがある所まで達  
しますと、だんだん精神の問題といひま  
すか、心のもちようといふことがでてま  
います。本當にひもじい人達にいかにか  
説教しても、なかなかその腹がいっぱい  
になるわけではございませんが、やはり  
世界がある程度豊かになつてくれば、し  
かもまだ非常に貧しい人達が世界の人口  
の三分の二をしめるわけですが、欲望と  
いふものをのばなしにしておいはいか  
どうかといふことが、だんだん世界の各  
国の人達の間でも考えられる様になつて  
まいりました。

実は今度のベルリンのローマクラブの  
大会にあたりまして、世界の将来、人間  
社会の将来の問題を考える時に、一方に  
おいてこの人口とか食糧とか資源、エネ  
ルギー、環境といふような、物ではかれ  
る数ではかれるような面から、いろいろ  
将来の問題を考えてみる必要がございます  
ですが、当時人間の社会制度、心の持ち方  
といふような、近ごろの言葉でいえばソ  
フトウェアといひますか、そういうよ  
うな面からの接近も同時にやつていかな

ければいけないということで、クリスチヤン、カソリック、プロテスタントそれから回教の人、それから仏教、マルキシズムの立場というような色々な思想家を招いて、これらの人達の話をお願いしたわけです。

今のような点から申しますと、今迄はとにかく科学技術の進歩をはかり、生産を増やし、能率を上げ、自然界を征服して人間の欲望を充足することをひたむきにしてきました。特に西欧の精神、キリスト教の中でもプロテスタントの精神というのは、フロンティア、つまり自然界の征服を進めていくというような気持が非常に強くあったのでございます。しかしだんだんその社会が豊かになっていくに従って、色々な悩み、つまり豊かな社会の心配の種が増えてきております。ですから経済の成長、経済の発展、所得の上昇、豊かさがあれば、自動的に人間社会の幸福が増えるかどうかということ自体に、疑問を持たれる様な状況になってきていると思うのです。勿論これは、今貧乏な国々、豊かな国々でも、非常に貧しい人達が多勢いるのですから、こういう人達が人間として生がいある生活がでさる程度の豊かさまでは、どうしても世界的にも、国内的にも、もっていかなくてはなりません。それ以上についての問題の考え方が本質的にとわれていると思うのです。

### 仏教精神の役割

一方、人口の増加というのは、資源の

点、食糧の点からいまして、必ずしも楽観できないのです。この面の制約もございまして、同時にそういう面の制約があるならば、浪費の限界つまり Limits to Growth (成長の限界) というレポートが出たのですが、同時に Limits of Waste (浪費の限界) も人間社会、特に豊かな国々で考えなければならぬ問題だと思えます。私は仏教の曹洞宗でございますが、普段あまり仏教の勉強もしておりませんので、今度の国際会議にも問題になりまして、多少のつけやきば的なことで多少仏教の本も読んだりしましたけれども、そのベルリンの会議に出席された佐伯真光さんの話は、かなり各

国の人々に印象を与えたようでございます。この仏教の考え方と今の世界の問題とのつながりはむしろ本日の午後のシンポジウムで色々議論を願ったらいと思えますが、欲望の限界ということを考えますと、色々な意味で仏教の精神と通ずるものがあるのではなからうかと。世界の経済がどんどん発展していくと一応その段階ではいわゆるプロテスタント的なこの前向きに進んでいく精神が一つの支えになって来たと思うのであります。しかし、有限の地球上で子々孫々までこの地球を住み易い場所として伝えていかなければならない、自然も資源も賤

していかなくてはならない、環境も破壊してはいけないということになってまいりますと、その絶えず前進を求めるヨーロッパ的な精神にある意味での行詰りが感じられてきている。これは西欧社会の人々自体がそういう感じを持ち始めているわけですが、そういう意味でこれからの人間社会において、もう少し別のものの考え方という点から、この仏教の精神というものが将来の社会に一つの大きな役割を持つのではないかと、印象を私ども門外漢ではございますが、近年感じていられるわけでございます。(おわり)

## 花まつりポスターのご利用を



年ごとに各

地で盛んにな  
っている春の  
仏教界最大の  
行事「花まつ  
り」を今年も  
既にどのよう  
に開催してい  
こうかとお考  
えになってお  
られることと  
しょう。

全仏では昭  
和四十七年か

ら、全国統一ポスターで釈尊のお誕生を祝うよう普及して、皆様に好評を得てご利用していただいています。

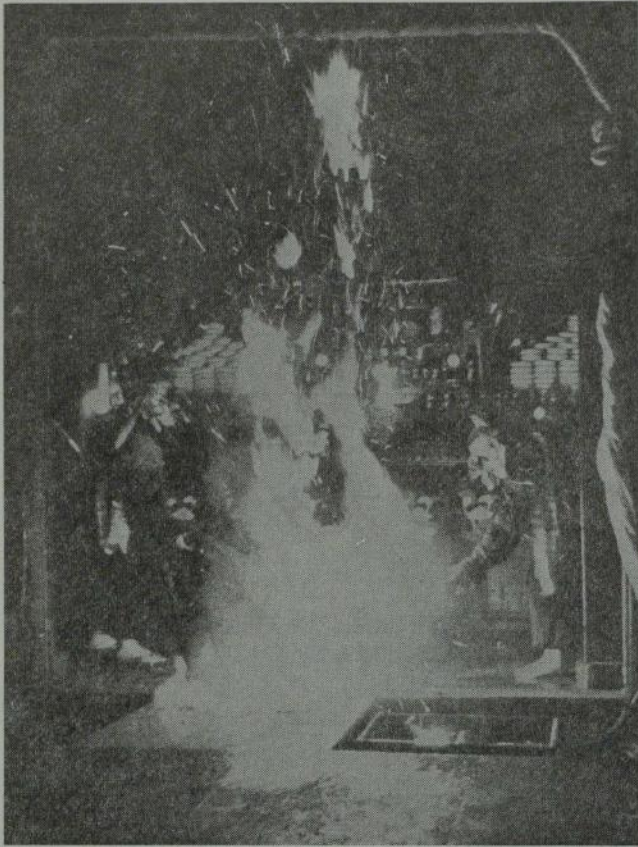
ポスターは明るい春の色を一杯にたたえて人の心に安らぎを与えることとしよう。どうぞ本年も同ポスターを各県都市仏あるいは各寺院、幼稚園等にて広くご利用して頂くよう左記要領にて頒布します。なお、諸事情から花まつりの開催日はまちまちですが、「四月八日」を強調し、一般の人々に忘れられない様にポスター上部に「四月八日はお釈迦さまのお誕生日」と刷り込んであります。

◎一枚八十円(三十枚以上は送料本会負担)——外国は別途)

# ふゆの仏事

## 東大寺お水取り

水取りや瀬々のぬるみもこの日より春を呼ぶこの行事は修二会と呼ばれ火と水の祭典といわれています。それは三月一日より十四日まで、二月堂の廻縁より火の漣のように大松明をふりまわすことから、多くの人から



の関伽井屋に、堂内より咒師がくだって水取の行事が行われ、関伽桶にくみとった清浄水を本尊十一面観音にささげる作法が盛大に行われています。この二月堂のお水取の中心となつてゐるのは何といつても「十一面悔過」

「おたいまつ」と呼ばれています。ことに三月十二日の大松明は「籠松明」といわれ、とくに大きく火の牡丹のようになつてゐる。

の作法で、日中、日没、初夜、半夜、後夜、晨朝の六時にわたつて、十一人の練行衆によって行われています。その典拠となつてゐます経典は、十一面神咒心経でして、この経典のなかに画かれてゐる十一面観音の諸の功徳をたたえ、その相好を心にうかべ、その各所をとつた声明は美しい天平のリズムの中にささえられて、いまも伝えられてゐる。ことに「南無観世音菩薩」を略して「南無観」「南無観」と唱える称名はまるで踊り出したいような躍動的なリズムで六時毎に早くすすめられ、後夜の節はまことに美しい。お水取行法が修二会といわれるのは旧二月におこなわれ、ことに神道の技の思想と、仏教の悔過の思想がつらなつてゐる奈良時代仏教の姿をとどめ、実忠和尚が天平勝宝四年に始められたといわれています。

また、神名帳や過去帳も読まれ、ことに過去帳の重慶と「青衣女人」の話は有名で、尾上松緑もこれを歌舞伎にうつしてゐる。お水取りが終る頃、新しいあたたかい春がやってくるのを人々は待ちわびるのです。(東大寺執事 平岡定海師記)

【写真はお水取りの松明】

## 謹賀新年

財団法人

全日本仏教尼僧法団

総 裁 大宮 智 栄

副総裁 花山院 慈 薫

理 事 長 北 川 教 全

副理事長 沢 田 教 然

” 梶 山 智 弘

東京都新宿区大京町三十一  
慈母会館内  
〒108-0335(三三〇〇四三四)

株式会社

千代田トラベル

取締役社長 織 内 七 郎

取締役 菊 島 輝 男

業務部長 相 川 忠 重

営業部長 渡 辺 義 光

東京都港区南青山五十一六一〇  
千成ビル内

〒107-0334(四〇七)三六二二

事務局録事 (十二月)

四日 東京ブディストクラブ・チャリティーショー参加  
七日 インドネシア仏教会代表来局

十日 日宗連理事會

十一日 局内會議

十三日 職員研修

二十一日 法人税法改正に関する打合せ

二十五日 終業

全仏推奨 安全焼香台 (屋内用)

線香 (ローソク) 完全燃焼器 (墓地用)

お寺を火災から守りましょう!!

線香(ローソク)完全燃焼器、(墓地用)でお寺も檀家もみんな揃って一安心! 安全焼香台(屋内用)もあります。


製法 実用新案公告 34188号

製品 実用新案特許 出願受付 昭46-92325号

ご一報下されば直ちにカタログを送付致します

特約店募集中

(〒460) 名古屋市中区大須 3丁目39番33号

全国総発売元  合資会社 梅金商店

TEL 名古屋<052>241-0901代

# 仏跡参拝の千代田トラベル・昭和50年の新企画 ガンダーラ・アフガニスタンの旅 (北京経由)

千代田トラベルでは過去10年、インド仏跡参拝に鋭意努力して参りました。幸い各界多方面のご支持を戴き恙なく任務を果たして戴いております。厚く御礼申し上げます。

ここに発表するガンダーラ・アフガニスタンの旅は北京航空路開設を機に、昭和50年の新企画として、日本航空の協力を得て、弊社が開発しようとしている新ルートです。

仏教はインドに生れ、中国・韓国を経て日本で開花いたしました。その発祥の地お釈迦さまが歩まれたインドの仏跡を参拝された方はすでに数多くなつて参りましたが、今度は玄奘三蔵の足跡を辿って大乘仏教発祥の地ガンダーラ(パキスタン東部)地方を中心に、アフガニスタンのパーミヤン(大石仏)までご案内します。なお、途中北京に2泊して、まだ自由渡航が当分望めない中国を瞥見できるのもこの旅行の大きな魅力です。

## コース ( )内の数字は泊数

東京-北京(2)-ラワルピンデイ(3)-タキシラーラホール(1)-パシャワール(2)...カイバル峠...カブール(3)-パーミヤン(1)-テリー(1)-香港(1)-大阪-東京

## 実施時期

第1回 昭和50年3月26日-4月9日 14泊15日  
第2回 " 8月27日-9月10日 "  
第3回 " 10月1日-10月15日 "  
第4回 " 10月22日-11月5日 "

本年度は以上4回の予定です。この地域は厳しい気候の制約を受けて上記の時期以外は旅行に適しません。

## 参加費用 (予定)

お一人につき 418,000円

この費用には毎日の食事を含めて団体行動中の一切の経費が含まれています。

## 参加人員

各回とも 15名以上25名まで  
日本航空の協力により適当する特別割引運賃の関係で、参加者15名未満の場合は団体が成立しませんので、そのような節は改めてご相談させていただきます。

## 申込締切

出発の45日前  
北京宿泊手配、中国査証手続の関係で締切日は厳守します。

## この旅行の特色

1. その道の専門の講師の方にご同行戴く。
2. 最も良い気候の時期を選んで、ガンダーラ仏跡を巡訪する。
3. 歴史的にも地理的にも有名なカイバル峠をバスで越える。
4. パーミヤンの石仏を見、ヒンズークシを仰ぎながらシルクロードの一端を知る。
5. 往路北京で2泊して観光する。(中国大使館了承済)
6. 帰路香港に1泊して、大阪経由帰国し、西日本の方々の便宜を計っている。

運輸大臣登録一般第154号

株式会社 **千代田トラベル**

東京都港区南青山5丁目6番20号(千成ビル)

電話 407-3612(代表) 〒107

昭和五十年一月一日発行  
一月号 第二〇四号

編集人 清桜 胤井 徹大 昭乗

発行所 財団法人 全日本仏教会

東京都台東区西浅草一ノ五ノ五(東京本願寺内)  
電話 〇三(八四三)六六三三 四一〇三